



2020年2月7日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 有 馬 資 明
 (コード番号 6986 東証第一部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行
 業 務 管 理 本 部 長
 T E L 0 4 7 5 (2 4) 1 1 1 1

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年11月8日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想数値の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,000	△900	△900	△6,800	△160.37
今回修正予想 (B)	58,000	△2,000	△2,000	△7,600	△179.21
増減額 (B-A)	△2,000	△1,100	△1,100	△800	—
増減率 (%)	△3.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (C) (2019年3月期)	67,083	323	1,460	△16,015	△377.56
増減額 (B-C)	△9,083	△2,323	△3,460	8,415	—
増減率 (%)	△13.5%	—	—	—	—

2. 業績予想修正の理由

(1) 売上高の減少要因

電子デバイス関連事業では、ラジコン機器は半導体市況の回復遅れによる顧客の在庫調整や開発の遅れ、複合モジュールは自動車市場の低迷の影響を受けたことや顧客の在庫調整などから、想定より減少いたしました。この傾向は、今後も続く予想しております。また、タッチセンサーは自動車市場の低調が続いていること、および競争激化に伴う受注減少から、前回予想より減少する見込みです。

生産器材事業では、国内は自動車・金型・設備工作機械市場の低迷が続いており、中国市場も金型市場の低迷から、想定より減少いたしました。今後も国内および中国市場の伸び率の鈍化が続くと予想しており、さらに、中国拠点では新型コロナウイルスの影響を一部織り込んだことから、前回予想より減少する見込みです。

(2) 営業利益の減少要因

電子デバイス関連事業では、ラジコン機器および複合モジュールの売上げ減少による操業度低下に加え、蛍光表示管の生産性の未達などから、想定を下回りました。また、タッチセンサーの売上げ減少に伴う操業度低下、および生産性の低下等を見込んだことなどから、想定より減少する見込みです。

生産器材事業では、国内および中国拠点の売上げ減少による操業度低下および海外子会社の売上債権の評価見直しを行ったことなどから、想定より減少する見込みです。

(3) 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の減少要因

営業利益が減少したことから、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は減少する見込みです。

以上のことから、2019年11月8日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。なお、第4四半期連結会計期間以降の為替レートは1米ドルあたり105円を想定しております。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報を合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があります。ご承知おきください。

以 上